

推進管内浮力式簡易配管工法 - 簡易 FT 工法 -

1. はじめに

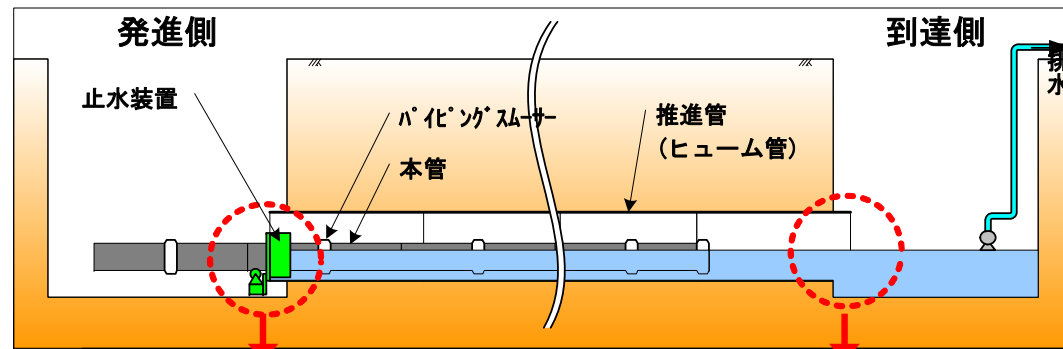
簡易 FT 工法とは、従来の FT 工法に用いる設備を簡易化した工法です。

2. 工法の概要

(1) 工法の説明

FT 工法とは、予め推進工法にて設置した推進管内に配管を行う際に、推進管内に水を注入し、本管を浮遊させ本管と推進管の摩擦抵抗を無くし、小さな押込み力で挿入可能とする工法です。

(2) 装置の概要例 (FT 工法との違い)



発進側立抗

本管固定をジャッキからローラー&ナイロンスリングで実施。
配水管により推進管内液位の調整を実施。



簡易化

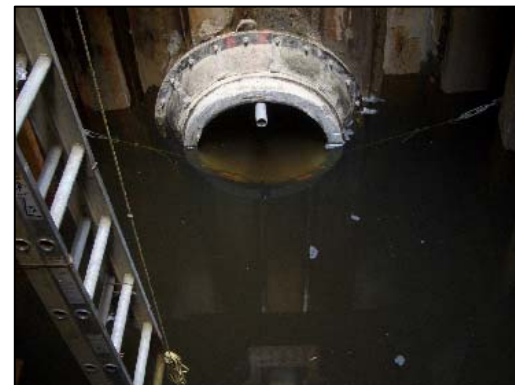


到達側立抗

到達側立抗自体を水槽機構とし、水位調整は排水ポンプで調整することで、装置を省略可能とした。



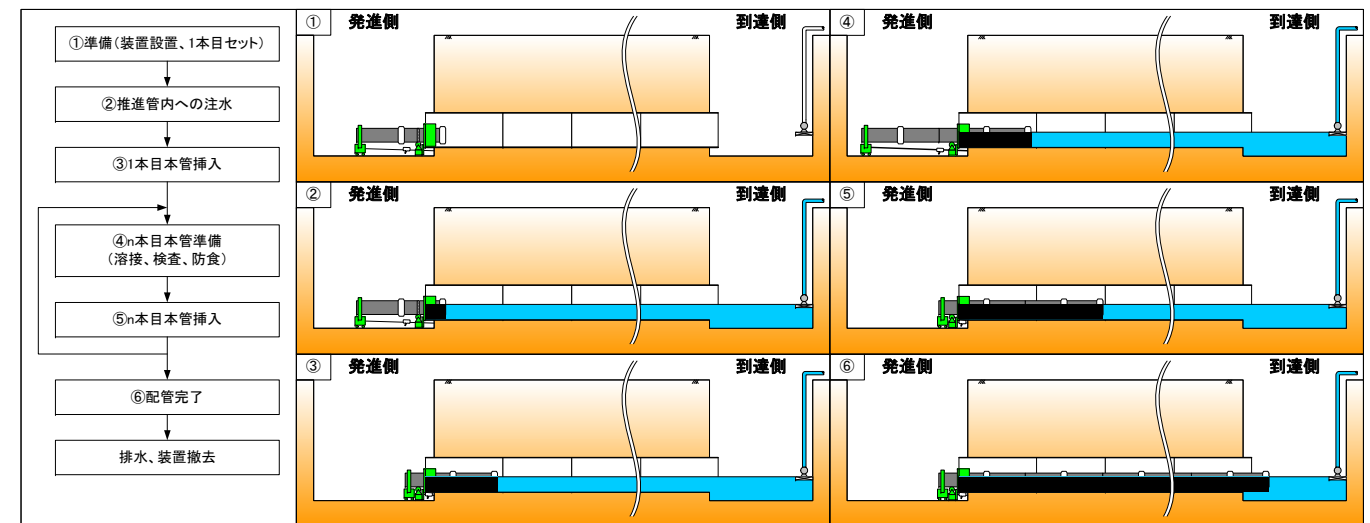
簡易化



3. 工法の特徴

- ・ 配管作業に係る到達側作業が推進管内に水を入れて本管を浮遊させ推進管と本管との摩擦抵抗を無くすことにより挿入力が大幅に低減し(実績上1ton以内)、小型の装置で超長距離配管が可能になります。
- ・ 推進管内の水を利用することにより、日々の塗膜抵抗管理が可能です。
- ・ 配管時の推進管内作業が無くなり、安全性が向上します。
- ・ 従来工法(押込み工法の場合)では、発進側・到達側双方での作業が必要になりますが、FT 工法では、発進側のみの作業で配管可能です。

4. 作業フロー



5. 施工実績

お問い合わせ下さい。